

「今話題の『3Dマンモ』はじめました。」

平成29年4月にマンモグラフィ撮影装置(乳房X線撮影装置)を更新しました。新しいマンモグラフィ撮影装置には、今話題のトモシンセシスいわゆる【3Dマンモ】が搭載されています。今回はこの【3Dマンモ】についてご紹介します。

従来のマンモグラフィ装置より、はつきりした画像が撮影出来るようになりました。

●**マンモグラフィ(乳房撮影)について**
通常マンモグラフィは頭尾方向(CO方向)と内外斜位方向(MLO方向)の2方向撮影です。2方向から、乳房内に腫瘤(しこり)や早期乳がんにみられる石灰化、乳腺組織の乱れがないかを検査します。

●トモシンセシス(3Dマンモ)について

乳房を断層撮影します。少しずつ角度を変え、15回撮影し、画像処理をすることで1ミリの画像が出来上がります。乳房の大きさによって画像枚数は異なりますが、細かく見えるので正常乳腺に隠れたしこりや石灰化、乳腺組織の乱れがよく分かります。しこりの様にみえる正常

組織を識別することもできます。

●どういった人に適しているの？

若い世代は乳腺量が多く、高濃度乳腺いわゆるデンスブレストと言われる人が多いです。しこりが乳腺に隠れやすいため、【3Dマンモ】が有用となります。また、正常なのに乳腺の重なりによって毎回精密検査になってしまう人にも有用です。

●被ばくは大丈夫？

通常の撮影より撮影枚数が多い分、情報量も多いです。その分、ごくわずかですが被ばく線量が多くなります。しかし、定められた線量を超えることはありません。ICRP(国際放射線防護委員会)やACR(American College of Radiology)で定められた線量より少ないです。

●痛み、撮影時間は？

1回の圧迫で通常撮影と3D撮影を行います。通常撮影のみ行う場合と比べて、撮影時間は4秒程度長いですが、押さえる強さは変わりませんので、痛みの程度は同じです。

私たちが撮影します!

*痛みに対しては個人差があります。
*3Dマンモは乳腺外来で医師の判断のもと必要に応じて撮影しています。

●最後に

乳房検査は女性技師が対応しております。検査に対する不安や心配事がありましたら、お気軽にお声かけください。



トモシンセシス(3Dマンモ)